

2020年9月全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

・休業4日未満

- 20043M** M2 院生(男性:24 歳);実験中に熱中症となり救急搬送された。(休業2日)
- 20051M** M2 院生(男性:25 歳);ヒュームフード内で反応溶液にブロモ酢酸(固体)を加えるときに、手にブロモ酢酸のかけらが付着し薬傷を負った。保護手袋をしていなかった。(休業2日)
- 20058M** 学術支援専門職員(女性:55 歳);瓶に溜めていた廃液をガラス棒を使用して廃液タンクに移し替えていた際、廃液にピペットチップが混入しており、ガラス棒で撥ねて腕に当たり薬傷を負った。(休業1日)
- 20061M** 雇用外教職員(男性:40 歳);18Lのポリタンク(液体入り)2個を持って歩く始めた際、腰に違和感を感じた。翌日痛みが強くなり、腰部挫傷・捻挫と診断された。(休業1日)

・不休業事故・災害

- 20033F** 助教(男性:35 歳);床上の医療機器のコードに足を取られて転倒し、左肘を打撲した。
- 20036F** 准教授(男性:42 歳);在宅勤務中、室内のコードを足にひっかけ転倒し右目を負傷した。
- 20037F** 補佐員(女性:61 歳);構内の除草作業中にクロスズメバチに刺された。
- 20038F** 事務・図書系職員(女性:57 歳);在宅勤務中、パソコン作業でマウスがなかったため、トラックパッドを長時間使用し腱鞘炎を発症。
- 20039F** 技術・教室系職員(男性:52 歳、男性:44 歳);林況調査作業から戻る途中で2名が蜂に刺された。
- 20042F** 医療・看護系職員(女性:51 歳);転倒した患者の状況を確認するためしゃがんだ時に自分自身が体勢を崩して、右手指を打撲(突き指)した。
- 20044F** 教諭(男性:38 歳);廊下を走って移動したところ、足がもつれて左足首を捻挫した。
- 20046F** 事務補佐員(女性:65 歳);防滑性に富んだ通路床で靴がひっかかり転倒、顔面を打撲した
- 20047F** 特任研究員(男性:39 歳);在宅作業用に自宅の机の高さを調整していた際、指を調整部位に巻き込み負傷した。
- 20048F** M2 院生(男性:23 歳);装置の運搬中に装置の接続部が外れ一部が足に落下し打撲を負った。
- 20052F** M1 院生(女性:23 歳);マイクロームのハンドルロックを掛け忘れて試料交換をしようとして、刃と試料固定部分に指を挟まれて切傷を負った。
- 20053F** 技術・教室系職員(女性:41 歳);敷地内の測定作業中に蜂に刺された。
- 20054F** 技術・教室系職員(男性:50 歳);敷地内造林地の下刈り作業中蜂に刺された。
- 20055F** 技術・教室系職員(男性:43 歳);敷地内造林地の下刈り作業中にマダニに刺された。
- 20057F** M1 院生(男性:22 歳);実験台上の薬品容器に誤って触れて落とし、床に試薬がこぼれた。その際、被災者のズボンに薬品が付着した。試薬容器は蓋を開けたまま実験台に置かれていた。
- 20059F** 教授(男性:46 歳);敷地の門の可動式引戸門扉を閉める際、左足親指を戸車と地面に挟まれ、左足親指に裂傷を負った。
- 20062F** 准教授(男性:40 歳);書棚の最上段から本を取るために車輪付きの椅子の乗った際に、椅子が動いて転落し、左腕を床に強打、打撲を負った。
- 20065F** 医療・看護系職員(女性:23 歳);マイクロームで作業中、装置の奥の物を取ろうと伸ばした手に刃が当たり、指に切創を負った。
- 20066F** 医療・看護系職員(女性:33 歳);トレー上の器具に洗浄スプレーを噴霧する作業で、床への飛散の状態を確認しようとして転倒し、額を床に打ち付けた。

・通勤災害

- 20035J** 研究員等(男性:29 歳);通勤時、自転車で走行中に丁字路で止まりきれず車にぶつかり首を捻挫した。雨天かつ整備不良でブレーキが効かなかった。
- 20050J** 事務・図書系職員(女性:47 歳);青信号の横断歩道を自転車で横断中、右折してきた自動車と接触し転倒した。

・ヒヤリハット。人的被害と物的被害なし

20040H レーザーを使用する実験で、空冷ビームダンプの許容値を大きく超える強度で使用していたことが別の研究者からの指摘で判明し、水冷ビームダンプに変更した。

20041H 外部からリモートでレーザーのシャッターを開くことができる状況で、レーザーゴーグルをかけずに調整作業を行った。

20056H 構内道路を歩行中、新聞配達バイクがスピードをあげたまま接近してきて衝突しそうになった。

20064H 引戸扉の閉門作業中、足が扉の戸車と地面の間に挟まれそうになった。

・人的被害なし、設備災害のみ

20060Ns 落雷により建物の電気系統に不具合等が発生した。

・人的被害なし、設備災害でない小火あり

20026Nf 職場にたまったごみ(家畜のエサを梱包していた紙袋等)を敷地内で燃やして処分していたところ、火が風であおられ周囲の樹木等に燃え移った。消防が入構し3時間後に鎮火した。ノゴみの野焼きは法律により禁止されている。

20049Nf 水素化ナトリウムを2-プロパノールで不活性化処理している際に発火し、側にあった紙タオルに引火した。作業場の整理整頓が不十分であった。

・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

20045Nd 重量約 800kg の装置を 2 階の研究室へ搬入作業中、搬入経路のピット上にあるガラス補強セメント製の蓋が割れ、装置が運搬装置と共に若干ピット内に沈下した。

20063Nd 大型電子ビーム装置の冷却水用アクリル製配管に裂け目が生じ、冷却水の漏水が発生、電子ビーム真空槽を伝って床に深さ 1~3mm 程度の水たまりを作った。幸い電気系統、制御系統、並びに電源盤の水濡れはなかった

・人的被害なし、設備災害でない有害物(臭)流出あり

20034NI 実験排水系に低 pH 排水の流入が感知された。

以上 教養学部等環境安全管理室